

# チャレンジ！一歩前へ

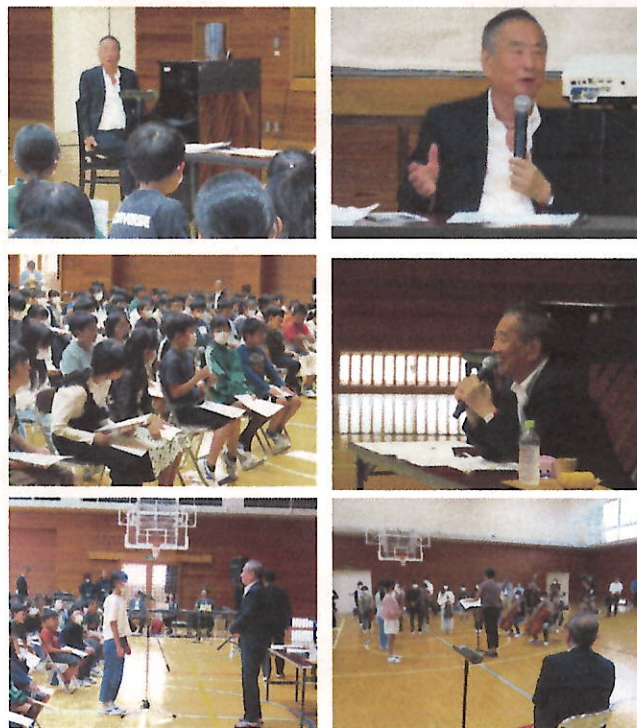
郡山市立橋小学校  
学校だより No.35  
令和5年10月4日  
文責:校長 酒井 健

## ◇三枝成彰さんが橋小学校においでになりました。

9月27日(水)、日本を代表する作曲家である三枝成彰さんが橋小学校においでになりました。三枝さんにお会いできることは、光栄であり、夢のようなことであります。この企画は、文化庁の後援で、「未来を奏でる教室 ～三枝成彰の音楽教室」というものであります。全国各地で展開しており、郡山市にお越しになったのは十数年ぶりとのこと。当日は、三枝さんが、5・6年生の子どもたちに音楽の素晴らしさ、楽しさを教えてくださいました。三枝さんが子どもたちに、これだけは覚えてほしいと教えてくださいましたことは、次の3点でありました。

- 1 クラシック音楽には、楽譜がある。
- 2 クラシック音楽は、科学だ。
- 3 クラシック音楽は、時代とともに新しいものを追求していると同時に、音楽にメッセージを常に込めている (特にベートーヴェン以降)

この様子は、テレビや新聞でも報道されました。三枝さんとの素晴らしい出会いによって、音楽がもつエネルギー、メッセージを心に感じ取った子どもたちでした。



## 三枝成彰さん 郡山で「授業」

ピアノを弾きつつクラシック音楽の魅力を児童に伝える三枝成彰さん。郡山市堤下町の市立橋小学校で



作曲家の三枝成彰さん 献活動の一環。  
⑧による「未来を奏でる教室」が27日、郡山市堤下町の市立橋小学校であり、5、6年生の計約200人がクラシック音楽の魅力に目を輝かせた。明治安田生命が全国各地で展開している社会貢献活動の一環として、三枝さんにはピアノを弾きながら長調と短調の違いを説明したり、日本の民謡も交えて西洋音楽史の特徴を紹介したりし「楽譜」という「文字」があるから、歳月を経ても楽曲が正確に伝えられて

# 音楽にあるメッセージ

「音楽は時代の流れとともに常に進化する科学だ」と語った。その上で「音楽にはメッセージが必要」と強調し、平和を訴えたジョン・レノンの「イマジン」や、榎原敬之さんが多様な人々と知って感激し性の尊さを表現した「世」と話していた。

## 「感激」返礼に児童演奏

また、講演後には、橋小で合奏の練習に励む児童25人がホルストの「セントポール組曲」をバイオリンやチェロなどの弦楽器で披露するサプライズもあった。明治安田生命によると、今回

界に「つただけの花」を見事に聴かせ「クラシック」という言葉の意味は、古典でなく「最高水準のもの」と結んだ。6年生の四方田真桜さん(11)は「イマジン」という曲が間接的にベトナム戦争を最終に導いたと教わり、音楽は美しいだけでなく、人を救う力もあるんだと知って感激した」と話していた。

## 【毎日新聞 2023.9.28に掲載】

一橋小学校では弦楽合奏の特設があることを伝えると、三枝さんから「ぜひ聴かせてほしい」と要望があり、急遽、演奏を聴いていただきました。

## 校長のひとりごと

ここ最近、朝夕の涼しさが増してきた感があります。秋もいよいよ本番になってきましたね。夜のお月様も澄み切った夜空に、くっきりときれいに見えています。先日の給食で、すまし汁がでましたが、そのすまし汁の中にもお月様がありました。思わずカメラで一枚！食事は味だけではなく「目でも食す」と言われます。秋の深まりを感じた給食となりました。

